

## (4) 主体性評価について

本学では、高等学校等から提出される調査書や志願者本人が記載する資料を用いて学力の3要素のうち主として「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下、主体性）」を評価します。

具体的には、面接を実施する選抜（教育学部、医学部及び地域資源創成学部後期日程）においては出願書類を面接の参考資料として主体性を評価します。面接を実施しない選抜（工学部、農学部及び地域資源創成学部前期日程）においては調査書等を点数化し（主体性評価）、大学入学共通テストの得点及び個別学力検査の得点と併せて合否判定します。

各学部における主体性評価の方針は次のとおりです。

### ①工学部

工学部では、「主体性」は学校等での日常的な学びにあると考え、調査書の「3. 各教科の学習成績の状況」を利用して、前期日程では10点満点、後期日程では5点満点で評価します。

※調査書を提出できない者は、活動報告書（15ページ参照）を提出してください。

### ②農学部

農学部では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、アドミッション・ポリシーの「1. 求める学生像」のうち、「主体性」「協働性」「学問への関心」（以下主体性等）に関連する素養であると考えています。このことを踏まえて、各学科で定めた評価基準に基づき、調査書の記述（※注1）から主体性等を評価し、前期日程、後期日程ともに5点（獣医学科）あるいは10点（獣医学科を除く5学科）を加点します。

なお、本学部のアドミッション・ポリシーは令和3年度入学者選抜から新しくなりました。

※注1：調査書の「6.特別活動の記録」及び「7.指導上参考となる諸事項」の2つの項目に重きを置いて、学校内あるいは学校外で取り組んできた活動等について評価します。本学部では、それぞれの項目から（ ）内に記載した素養や経験を読み取れると考えています。

#### 6. 特別活動の記録（主として協働性）

<各活動に従事した期間を必ず記入してください。>

#### 7. 指導上参考となる諸事項

(1) 学習における特徴等（主体性・学問への関心）

(2) 行動の特徴、特技等（主体性・協働性）

(3) 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等（主体性・協働性）

<部活動やボランティア活動の具体的な取組内容および活動期間、その活動における特徴や役割等を記載してください。>

(4) 取得資格、検定等（主体性・学問への関心）

<民間や専門高校の校長会等が実施する資格・検定の内容、取得スコア、取得年次、取得時期等を記載してください。>

(5) 表彰・顕彰等の記録（主として主体性）

(6) その他

なお、「5. 総合的な学習の時間の内容・評価」及び「8. 備考」の記述については、主体性等の素養や経験とみなせるものを加点対象とすることがあります。

また、文章の量は評価に関係ありません。

※調査書を提出できない者は、活動歴報告書（15ページ参照）を提出してください。

※農学部における、調査書記入のポイントについては、以下のページをご確認ください。

[https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/R5\\_ippan.survey.report.pdf](https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/R5_ippan.survey.report.pdf)

### ③地域資源創成学部（前期日程）

前期日程では、調査書及び自己申告書を30点満点で評価します。アドミッション・ポリシーに基づき、調査書等の記述を総合的に評価します。文章の量は関係ありません。

【出身高等学校長の皆様へ】

調査書では、「7. 指導上参考となる諸事項」を利用して評価しますので、当該欄においては、「調査書記入上の注意事項等について」の他、特に、何らかの長やリーダーをしていた場合は、その旨を記載してください。

旧調査書を提出する既卒者や調査書を提出できない者についても同等の観点とする方針ですが、実情に合わせた措置により不利にならないよう配慮します。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、長期に渡る臨時休業の実施や部活動等の諸活動が大幅に制限されたことにより入学志願者が不利益を被ることのないよう配慮します。